

D-1					
主題		YouTube を利用した情報発信により、 介護のイメージをアップデートしていく取り組み事例			
副題		なし			
キーワード 1	YouTube	キーワード 2	広報活動	研究(実践)期間	8か月

法人名・事業所名	社福) 芳洋会 特別養護老人ホームひのでホーム
発表者(職種)	師真悟(ケアワーカー)
共同研究(実践)者	今鷹志(ケアワーカー)、関澤孝文(採用担当)

電話	042-597-2021	FAX	042-597-1973
----	--------------	-----	--------------

事業所紹介	ひのでホームは西多摩郡日の出町にある入所定員200床、ショートステイ定員15床の介護老人福祉施設。法人理念「安心と充実の人生を一緒に。」を掲げている。オンラインを活かした情報発信を積極的に行い、コロナ禍でもご家族や地域、ボランティアなどとのつながりを大切にしている。
-------	---

《1. 研究(実践)前の状況と課題》

コロナウイルス感染症の拡大により、ご家族をはじめ、ボランティアや地域の方など、施設に訪問する機会が減り、施設内の情報や活動の様子などが見えづらくなっている状況があった。今までも広報誌やホームページ、SNS等で情報発信をしていたが、動画コンテンツの視聴が当たり前の時代となっているため、情報発信の方法も時代に合わせていく。またコロナ禍により、面会や施設見学などの対面での対応が制限される中、今まで以上に施設内の様子や雰囲気伝える工夫が必要。

《2. 研究(実践)の目的ならびに仮説》

コロナ禍により生活様式が変わってきた今、活動の様子や雰囲気を伝えたり、求職者へ情報提供をしたりする媒体として、動画コンテンツはとてわかりやすい方法と考える。

YouTubeは日本で6500万人以上が利用するサービスである。日常に浸透しているYouTubeを利用し、「フクシのイメージをアップデートしよう。」という目標を掲げ、福祉・介護のイメージをよりよいものにしていくことを目的とする。

「チャンネル登録者数1000人を2年間(2023年3月31日まで)で達成する」ことを達成基準(仮説)として実施していく。

《3. 具体的な取り組みの内容》

【プロジェクトチームの立ち上げ】

チャンネルアカウントは「SunriseTV」として2017年から設定していたが、ほとんど運用していなかった。2020年10月、YouTubeを活用した広報戦略を進めていく、ということが決まり、動画の企画・構成、撮影、編集、アップロード、SNSを活用した拡散までを行うプロ

プロジェクトチームを結成した。

【動画配信と拡散】

ターゲット層は広く一般の人たちとし、福祉や介護と接点がない人でも気軽に視聴してもらい仕事への理解が深められるようにした。内容は福祉や介護の視点やひのでホームの強みの視点に、一般的なこと・楽しいことを掛け合わせることで、一般視聴者でも気軽に視聴できるコンテンツにすることを、制作していく上でのルールとした。

まずは動画100本アップを目指し、週2本ペースでアップしている。その進捗状況がわかるように、半期ごとに動画本数とチャンネル登録者数のマイルストーンを設定し、それを目安に進めている。撮影・編集した動画だけでなく、ライブ配信も試験的に実施している。

動画をアップするのと合わせて、ツイッターやインスタグラムなどのSNSでサムネイルや概要を発信し、なるべく多くの人々の目につくようにした。

《4. 取り組みの結果》

2021年7月6日現在、チャンネル登録者数283人、動画アップ件数89件。

主な反響は以下の通り。

- ・SunriseTVを見て就職を決めた。(4月新卒採用者)
- ・楽しくお仕事されてるご様子が伝わりました。次回も楽しみにしています。(介護従事者)
- ・ポジティブな雰囲気と仲の良さが伝わった。(学生)

そのほか、東京の介護って素晴らしいグランプリ2020の動画部門にエントリーし、最優秀賞を受賞。西多摩地域のローカル新聞社から取材を受け、掲載された。

《5. 考察、まとめ》

多くの人に知ってもらうには計画的・継続的に行うことが必要であり、良い印象を持ってもらうためにはYouTubeやSNSなどは最新の情報に更新されていないと逆効果にもなりかねない。採用関係でお世話になっている大学の先生より「今の学生は、介護という仕事に対して悪いイメージはさほどない。ひとつの仕事として普通に存在している。」と話があった。

若者たちのイメージや価値観が変わってきている中、望む情報を適切なツールで届ける必要があり、何より介護という魅力ある仕事を、きちんとデザインして伝えていくことが、私たちに求められていることではないか。

《6. 倫理的配慮に関する事項》

実践発表を行うにあたり、ご本人(ご家族)に口頭にて確認をし、本発表以外では使用しないこと、それにより不利益を被ることはないことを説明し、回答をもって同意を得たこととした。

《7. 参考文献》

- ・YouTubeの利用実態に関する調査

<https://www.cross-m.co.jp/news/release/20201109/>

- ・月間6,500万ユーザーを超えたYouTube、2020年の国内利用実態

<https://www.thinkwithgoogle.com/intl/ja-jp/marketing-strategies/video/youtube-recap2020-2/>

《8. 提案と発信》

YouTubeやSNSはこの時代において適切なツールの一つであり、それらを活用し相手が望む情報を、私たちがデザインして伝えていけるかどうか、重要なポイントではないか。